

1. 調査報告概要表

作成日 平成 20年 3月17日

【評価実施概要】

| | |
|-------|------------------------------------|
| 事業所番号 | 1272300144 |
| 法人名 | 有限会社 長寿松 |
| 事業所名 | グループホーム あんしん勝浦 |
| 所在地 | 千葉県勝浦市松部1077-2 (電話)0470-73-3313 |

| | |
|-------|----------------|
| 評価機関名 | 株式会社日本ビジネスシステム |
| 所在地 | 千葉県市川市富浜3-8-8 |
| 訪問調査日 | 2008/3/10 |

【情報提供票より】(20年 2月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|--------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 18年 2月 1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.8人 | |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り |
| | 3 階建ての 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 | |
| 敷金 | 有() 円 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() 150,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/ 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 500 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ | 200 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(2月 25日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|----|-----|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 6 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 3 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 0 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 75 歳 | 最低 52 歳 | 最高 87 歳 | | |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------|
| 協力医療機関名 | 塩田病院 |
|---------|------|

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設からは海が見え、自然に囲まれた環境の中にある。建物の強度が優れており、災害が起きても大丈夫な構造となっている。食事においては、飲食店の経験者を中心に調理を行い、栄養学を献立に反映させ、米は農家から直接購入する等質の高い食事提供がなされている。アットホームな雰囲気職員と入居者が家族の様に接している。管理者が看護師で、日々の健康管理等はしっかりと行なわれている。リビングからウッドデッキに出る事ができ、天気の良い日は職員と共に洗濯干しを行ったり、お茶を飲んだり、海を眺めながら共に楽しみを共有できるスペースとなっている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | <p>今回が初めての外部評価なので、改善点なし。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の作成においては管理者が行っている。今後、外部評価においては、業務の見直しのきっかけにし、サービスの向上に繋げて行きたいと考えている。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>現在まで運営推進会議は開催されていないが、必要性、重要性を理解している。今後は、構成員の検討や参加の呼びかけを行い、会議が早期に開催できるよう体制作りを努めている。市とは入居者や業務の相談等で連携を図っている。また、市の依頼を受け、認知症の相談窓口となっており、状況に応じて緊急時の受け入れ対応も行っている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に意見・要望等の確認を行っていると共に、意見箱及び苦情・相談窓口を設置している。挙げた要望等に関してはミーティング等で検討した上で業務内容を見直し、適切な対応がなされている。また、家族に対する説明及び報告がなされている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩の時に近隣住民とは挨拶を交わす関係を築いていると共に、ご好意で差し入れを受ける等している。施設で自治会に加入しており、地域のゴミ拾い、行事準備の手伝い等に職員が参加し、交流を図っている。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「入居者は共に生活するパートナーである」「地域生活における認知症ケア」を主眼とした独自の理念を掲げ、職員全員が理念を意識した事業の取り組みがなされている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 事業所内に理念が掲示されていると共に、ミーティング内で理念の確認を行っている。また、日々のサービスの中でも理念に基づくサービスの実施を確認している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩の時に近隣住民とは挨拶を交わす関係を築いていると共に、ご好意で差し入れを受ける等している。施設で自治会に加入しており、地域のゴミ拾い、行事準備の手伝い等に職員が参加し、交流を図っている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 今回が初めての外部評価であり、自己評価の作成においては管理者が行っている。今後、外部評価においては、業務の見直しのきっかけにし、サービスの向上に繋がって行きたいと考えている。 | | 職員全員が自己評価の作成に関わる事により、評価の意義や活用方法の理解を更に高め、サービスの向上に取り組んで頂く事を希望します。 |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 現在まで運営推進会議は開催されていないが、必要性、重要性を理解している。今後は、構成員の検討や参加の呼びかけを行い、会議が早期に開催できるよう体制作りに努めている。 | | |

【千葉県】グループホーム あんしん勝浦

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 入居者や業務の相談で市と連携を図っている。また、市の依頼を受け、認知症の相談窓口となっており、状況に応じて緊急時の受け入れ対応も行っている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 家族の面会時に入居者の生活状況を報告している。今後、手紙を活用した方法を検討中である。また、生活状況に変化があった時には随時家族への報告を行っている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時に意見・要望等の確認を行っていると共に、意見箱及び苦情・相談窓口を設置している。挙げた要望等に関してはミーティング等で検討した上で業務内容を見直し、適切な対応がなされている。また、家族に対する説明及び報告がなされている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 入職があった場合、「馴染み・信頼関係」を重要視した事業所の方針のもと、入居者との関係作りを大切にしている。接遇マナーの教育を行い、できるだけ早く馴染みの関係を築けるよう、職員全員で協力している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員全員の昨年度の反省・今年度の目標を事業所内に掲示し、職員の資質向上を目指している。外部研修に関しては研修参加後に報告会を行い、情報の共有を図っている。業務マニュアルや研修資料を活用した上で、サービスに関する知識・技術の向上に努めている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のグループホーム連絡会に参加しており、研修会や情報・意見交換等を行っている。また、業務における相談等を通して、他の事業所の優れた点を取り入れながらサービスの向上に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|-----|--|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>随時、見学を実施している。また、体験入居や面談を通じて施設の雰囲気に慣れてもらうと共に、入居者の意向や希望の把握に努めている。入居後は、専属の担当者を付け、施設に馴染むまで根気良く対応し理解を得るよう声掛け等を工夫している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>調理、食事準備、洗濯干し等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者に家事の知識、知恵を教わりながら共に支えあう関係を築いていると共に、人生経験や他人に対する接し方等に対して、尊敬や学びの姿勢を持っている。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居前の見学、面接を通じて入居者の意向や生活歴等の把握に努めている。また、入居後の生活においては、日々の気付きや職員間の情報交換を通して本人の意向に沿った支援を行っている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>職員からの意見、入居前の見学・面接での情報を活用し、管理者、計画作成担当者がケアプランを作成している。今後、アセスメントにおいては、センター方式の導入を検討しており、情報の整理や職員への周知に努めている。</p> | | <p>ケアプランの作成において家族にも参加をしてもらう事で、意見・要望を確認し、現状に即した介護計画の作成を希望します。</p> |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>2ヶ月に1回、介護計画に評価を記入し、目標の達成を確認している。また、生活状況に変化があった場合やミーティングで見直しが必要と判断された場合は、ケアプランの見直しを図っている。見直しの際は、職員全員の意見や情報をまとめ、管理者、計画作成担当者が作成している。</p> | | <p>安定した入居者の場合でも見直しを定期的に行い、意向や状況を確認すると共に、情報や気付きを収集し、より現状に即した介護計画の作成を行う事を望みます。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 入居者が入院した際、お見舞いや着替えの準備を施設職員が行っている。また、通院における支援も希望があれば職員が対応している。行きつけの美容院や数時間程度の一時帰宅等、入居者の希望に応えた外出支援を行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力病院やかかりつけ医の受診を定期的に行っており、希望があれば職員が通院を支援している。また、管理者が看護師であり、入居者の日々の健康管理を適切に行っている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 施設では、終末期の看取りは行っておらず、重度化した場合は、協力病院と連携を取り、相談の上、適切な対応を図っている。 | | 重度化や終末期に向けた方針を掲げ、家族に説明すると共に、意向や希望を確認する事で、対応・方針の共有を図る事を希望します。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報、事務所に保管しており、個人情報の保護を図っている。また、入居者に対しては、尊厳を尊重した接遇マナーを徹底しており、「介護する」ではなく「共に生活する」という理念を意識しながらサービスを提供している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々の日課を定めているが、その日の希望や個々のペースに合わせた生活を送っている。また、希望を言い出しにくい入居者に対しては、会話の中から聞きだし対応している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備・片付け、調理、買い物は入居者と共同で行っている。献立においては、職員がカロリー計算を行っており、入居者の好みや要望を取り入れながら作成している。また、外食会を企画・実施する等、食の楽しみを支援している。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週3日入浴を原則としているが、希望や季節に応じて回数等は柔軟に対応をしている。また、清拭、足浴は毎日実施できる体制である。入浴拒否に関しては声掛けをしながら強制することなく入浴してもらえよう配慮している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 家事等の生活活動を能力に応じて共同で行っている。裁縫や将棋等、個々の趣味に合わせたレクリエーションを支援している。また、季節に合わせた行事や外出会を行い、四季を感じながら生き生きとした生活が送れるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日は散歩を支援したり、希望に応じて買い物や一時帰宅を実施している。初詣、お祭り、イベント等への定期的な外出会及び外食会を企画・実施し、戸外での楽しみを支援している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室には鍵は設置されていない。玄関は安全面に配慮して日中は施錠を行っているが、入居者の希望に応じ、その都度職員が開錠し、見守り、声掛け等適切に対応している。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 近隣の地図を廊下に掲示し、避難場所の確認を行っていると共に、ミーティングで避難経路、緊急時、災害時の対応手順を確認している。また、地域住民へ災害時の協力を呼びかけていると共に、地域の消防署に協力を依頼し、消防訓練の実施に向け取り組んでいる。 | | |

【千葉県】グループホーム あんしん勝浦

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 入居者の嗜好や能力に合わせた食事提供がなされている。水分及び食事の摂取量を記録しており、摂取量の不足に関しては、栄養補助食品等を提供している。また、食事の提供時間をずらす等柔軟な対応を行い、必要な栄養を確保している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングから海が見え、ソファやコタツが配置されており、入居者がくつろげる環境作りがなされている。また、ウッドデッキが設置されており、天気の良い日は、日向ぼっこをしたり、お茶を飲んだりしている。浴室の脱衣所が広く、介助するに当たり窮屈にならないよう十分なスペースが確保されている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室の窓からは海や緑が見渡せることができる。家具等の持込に付いては制限はしていないが、安全面を考慮して、なるべく軽くて低い家具等を推奨している。全居室にエアコンが設置され、操作は職員が行い適切な空調管理がなされている。居室には鍵は付いていないが、職員全員がプライバシー保護を意識して業務を行っている。 | | |